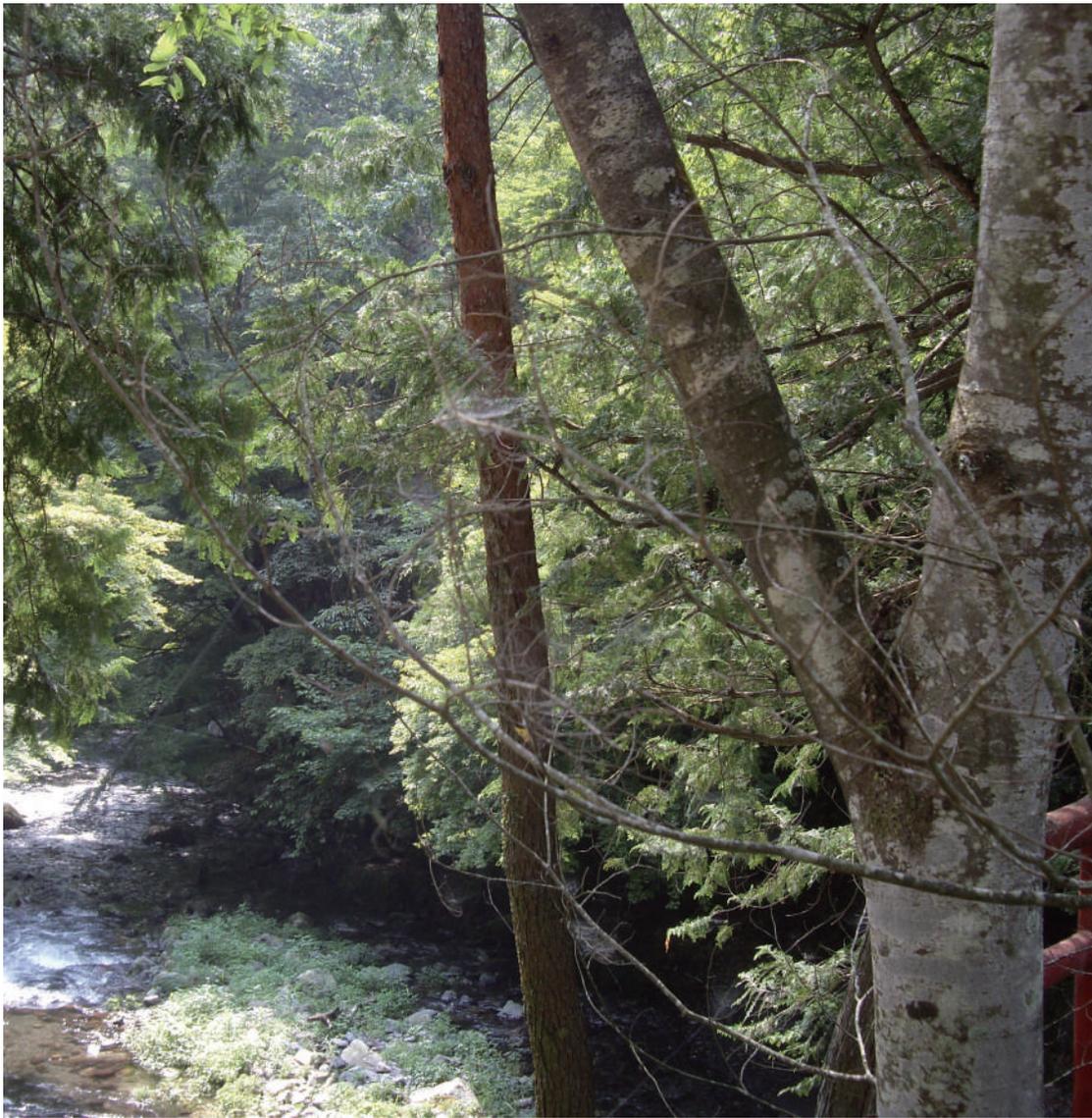


樹 姉 ば よ り

No.143
2016.09



慈悲喜捨

いよいよ二学期が始まりました。学習や運動、行事などでよい成果を出すために、自覚を持って取り組み、充実した時を過ごすようにしましょう。

さて、一学期を振り返ると、さまざまなでき事がありました。その一つ一つに「喜一憂しているうちに、「喜怒哀楽」という言葉が浮かんできました。

喜怒哀楽は、人間の代表的な感情を表します。全ての人が持ち、とても繊細で、言葉では簡単に言い表せないものです。そして、感情は、さまざまな行動を引き起こします。たとえば、喜びの感情から前向きな思考が生まれ、怒りの感情から攻撃的な行動が起きます。また、哀しみの感情から自暴自棄になったり、楽しみの感情から人生の目標が決まることもあります。このように、感情は必ず行動に結びついています。

しかし、自分の感情を確かめようとすると、言葉で説明できるほど理解してないことがわかります。それはなぜでしょうか。私たちは、生まれ育つ過程でさまざまな知識や概念を得て、価値観や思考パターンなどを作っていきます。それは、

生活するうえでどの寄りどころとなる反面、自分で作り上げた価値観や思考パターンが、無意識のうちに感情を押さえつけたり、素直な感情を覆い隠すような働きをすることがあります。そのため、最終的にはよく分からぬままに終わってしまうことが多いのです。しかし、カウンセリングでは、相談者とカウンセラーがそれを一緒にを行います。カウンセラーは、話の内容と共「感情」に焦点をあてながら話を聴きます。相談者は、自分と向き合い、カウンセラーと共に心にわき起こる感情の一つ一つを丁寧に確認していきます。相談者が、自分自身の繊細な感情に向き合い、ありのままの感情を知ろうとするときに、「共感」や「共生」の心が生じます。

新学期にあたり、何かで壁に突き当たったり、気持ちが悪くすっきりしないような時は、生徒も保護者の方も、担任の先生に相談すると共に、カウンセラーを訪ねてみてはいかがでしょうか。これからも暑さが続くと言われています。それを乗り越え、みんなで収穫の秋を喜んで迎えられるようにしましょう。

教頭 金安伸一

カスリン台風 被害の思い出

(多田明氏の記録より)

明照学園理事長
野口 秀樹



九月一日は防災の日であります。最近では日本各所で災害がおこり、多くの皆様が辛い思いをしている現状があります。

桐生は大変恵まれていて、現在は特別な災害に見舞われる事もないのですが、昭和二十二年九月十五日に関東地方を直撃したカスリン台風で、大変な被害にあったことがあります。その時、樹徳高校も流失の被害にあい、立ち直るまで何年もかかったのです。

関係事業所としてお世話になっている本町六丁目、多田洋品店店主多田明氏がその時の惨事に遭遇され、平成十二年にそのことを記

録にまとめられました。この度はその資料に基づいてお伝えします。

私が小学五年生のときでありました。強い雨が何日も降り続いた日の夕方、新川の水位が急に上がり始め、盛運橋の欄干に川の流れが音を立て当たり出しました。あっといいう間に川の水が道路にあふれ出し、店の中に濁流が入り込んできました。

(後日の話で、桐生商業高校の側にある渡良瀬川の堤防が決壊して、川の本流が新川へ流れ込み、増水の原因になったと聞かされました)

水位はみるみる上がり濁流は床下からそして畳の上まで、店の商品は店内をプカプカ浮き沈みしながら流れ出て行きます。後ろ側にある家を見ると水が天井につき水没寸前です。

(川岸町は昔から崖下といわれ、現在も地盤が低くなっています) 始めて見る光景に身がすくむ思いだったのを今でも

忘れられません。

「二階へ上がれ！」という父の悲痛な叫びで、私達家族四人は階段を上がり、恐怖の中で渦巻く濁流を見つめていました。

その後、裏の家の人達と屋根づたいに隣の福田屋さんの二階へ集まって行き、流れの向こう側にいる人達に向かって「助けて下さい！」と大声を上げていました。多分十五人位はいたと思います。

間もなくガラガラツという大音響と共に目の前の家(盛運堂菓子店)が一瞬の間に崩れ落ち流れ去っていく、その隣の進藤さんの家族(主人、奥さん、幼児)が手をつなぎ、奥さんが子供を背負い荷物を手に持ちながら、腰までつかる濁流の道路を横切ろうとして歩き始めました。二階から見ていた我々の目の前で、三人が流されていく。主人がかるうじて電線にしがみつ

き、奥さんと手をつなぎあっていますでしたが、力尽きて手が離れ「ギャーッ」という声と共に真つ暗な闇の中へ消えていきました。ご主人

は福田屋さんのガラス戸を破り我々のいる二階へ上がってきました。震えながら「今、女房と子供が流されました。」と放心状態で言いました。

間もなく前の家(池田尾呉服店)が大きな音を立てて流されていき、続いて金井京染店がマッチ箱が流されるかのように目の前から消えていく。ついに私達がいる家は濁流の中で孤立してしまい、上流から流れてくる木材や丸太が家に当たるとびズシューンという大きな音をたてて地震のようにゆるぐ。子供だった私は生きた心地がいたしませんでした。大人達も次は自分達だと思ったとういことでありました。

対岸では消防団の方々がこちらの柱へのロープをつなごうと懸命になつていっているのが見えました。



なかなか水流が早く渡れませんが、やっと一人が流されながらこちらにたどり着きロープを結び救助活動が始まりました。不思議なことに全員が渡り終えたときに雨がやみ、今まで濁流となっていた道路の水が一気に引いて、悪夢のような一夜が終わりました。

多田氏はこの他に次の日の様子など事細かに記されており、桐生市の被害状況は次の通りです。

死者百十三名、行方不明者三十三名、負傷者百六十六名、流失家屋二百十三戸、倒壊家屋百三十九戸、半壊家屋四百六十一戸、床下浸水四千九百二十九戸、床下浸水六千六百十四戸、被災者数五万七千七百十六人
土木関係被害：
道路二百二十六箇所、堤防決壊七十六箇所

新川は今ではふさがれて見えませんが樹徳高校の真横にある川です。桐生市の歴史に残る大惨事、故人の冥福を祈りながら、日々心の備えは忘れずにいたいと思います。

みつめる みなおす みとめる

『5mmの思い』

「5mm以内で形がくるっている。悪くないけど。」
今でも忘れられない言葉だ。

私は美術系大学受験のため、高校二年の時、一念発起し、肉体労働のアルバイトで四十万円ほど貯え、美術の予備校に入った。そこには、高校生から五浪の先輩まで、様々な人がいた。

私は結局、二年浪人したので、この予備校に四年近く在籍した。高校に通っている期間よりも長く、予備校で美術の基礎を勉強した。

美大の入試は、国語や英語と共に、一次試験の素描（デッサン）と、二次試験の専門実技が行われる。素描とは、モチーフ（題材）をよく観察して描くことで、三時間の短い試験から十一時間の二日がかりの試験まで様々である。また、専門実技は、彫刻科・工芸科であれば水粘土の作品制作、日本画科・油絵科であ

れば絵画制作、デザイン科であればデザイン課題といった、六時間から十一時間の試験である。一次試験の素描で六割以上の受験生が不合格となり、二次試験に進むことが出来ない。この段階では、センター試験の結果も加味されない。正確に描ければ受かり、描けなければ落ちるシンプルなものだ。

私は、まずは一次試験突破のため、来る日も来る日も素描を続けた。正確に形や光や陰影を写し取ろうとした。朝、七時からアトリエ（予備校）に行き、夜八時過ぎまで絵を描き、粘土作品を作る。電車のホームでも車内でも、眼に入る物を短時間でスケッチした。家族の協力もあり、浪人生とは思えないような美術の勉強三昧の贅沢な日々が続けられた。なかなか上達せず、辛いことも多かったが、今振り返れば、人に羨ましがられるほど器用でもなく、向いていないと諭され

るほど下手でもなかった。だから、自分自身に失望することもなく、自信過剰になることもなかった。ただ純粋に正確で美しいデッサン・力強く存在感のある彫刻に、仲間と共に憧れた。そして自分も力をつけたいと思った。その強い思いで毎日、彫刻の勉強を続けられたことは、自分にとって良かったと思う。

二十歳の冬、東京の大手予備校の素描の全国模試を受け、三十一位だった。意外と思われるかもしれないが、素描にはランク・順位がしっかりとつく。東京芸術大学彫刻科の入試は、最終合格者は二十人で、何とも微妙な結果だった。冒頭の言葉は、このときに尊敬する彫刻家の先生から言われた言葉であった。目の前が真っ白になるほどショックだった。私は六時間かけて、自分の眼を信じて正確なデッサンを描いたつもりだった。ところが採点をされた八人の先生方は、形のずれを数秒で見抜いた。作品の画面上での5mmは、実際に何センチも、何センチも形や空間を把握でき

ていないということだ。顔などの描写表現で5mm違えば別人に見えてしまう。形を正確に捉える力は、彫刻家を目指す者にとって重要な自信は、すぐに恥ずかしさに変わった。自分より上位にある作品を見ると、自分との違い、形のシビアさを強く感じ、関東のレベルの高さに頭が下がった。夜行バスで地元に戻り、朝到着すると予備校ですぐに同じモチーフを用意した。もう一度、同じ角度で素描をした。

模試の後、今まで以上に集中して取り組んだ。形の違いを5mmからどこまで修正できるか、そのことばかりを意識した。少しずつフォルムに美しさを持たせていく、モチーフ（主に石膏像）の魅力が自分の作品の魅力に少しでもなるように心がけた。三度目の入試でも、第一志望の東京芸大に合格することは出来なかったが、それ以外に受験した公立・私立大学には合格出来た。また、大学に入学後、美術の予備校の講師

を務めたり、自分の素描が美術の教科書の指導書に使われる機会があったりと、自分が続けてきたことに改めて自信が持てた。
二年間浪人したことで、多くの友人に出会えた。この出会いをきっかけに彫刻の世界で、大学の壁を越えた多くの仲間ができた。負けたくない、魅力ある作品をつくって発表したい、意見を交換したいという思いは、今もあの頃も変わらない。5mmに対する思い、向き合い方に気付かせて頂いた先生方には感謝している。細かなところへの思いが全体への魅力に繋がっていくことを忘れない。

（芸術科 山田早矢人）



■樹徳コミュニティセンター「み法」9月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生藤工芸」
主催 野村ナナ子さん 1日(木), 15日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 15日(木)
- (3) 販売実習 10日(土), 24日(土)
①「相田みつを美術館」取扱い商品
②「星野富弘美術館」取扱い商品
③東北復興支援商品(海産物等)
- (4) アートフラワー作品展(入場無料)
主催 周家永花さん
29日(木) ~ 10月2日(日)

夏季海外科学研修 参加体験記

先月号では写真のみのダイジェスト版でお届けしましたが、今月号は海外科学研修に参加した生徒の体験記を紹介します。

『海外科学研修を終えて』
二年SS組 小松原萌可



ならない。私は将来、留学も視野に入れていますが、このままでは恥だということも分かった。これからは幅広い分野を勉強していかなければいけないと思う。

海外科学研修へ行く前、積極的に授業で発言し、たくさん友達に話し掛けるという点では自信に満ちた自分があった。そんな強気でいった自分が日々薄れていった。クラスメイトやアクティビティで知り合った子とは仲良くはなれたが、やはりあまり自分からは話しかけられず、話しかけてもらうのを待っていた方が多かった。授業中も先生に指されるまで待っていた。

私のクラスには、ブラジル人、ロシア人、フランス人の学生がいた。どの国の学生も実際の年齢よりも大人っぽく見えた。容姿だけではない。授業中の発言までもが中学生には思えないほど立派であった。特に驚かされたのは、どの学生も世界史について詳しくあったことだ。私はもともと歴史が苦手だったため、今回の研修で世界史に関わる授業があった時、理解するのが大変であった。授業ではグループ毎に話し合い、意見を出し合った。私はその時、少ししか発言できず、自分を情けなく思った。理系だから知らなくても仕方ない、というのは言い訳には

一人ずつ意見を出す時や、みんなの前で発表する時も最後になってしまうことの方が多かった。普段の生活ではありえない控え目な自分がいて、日本人らしさが出てしまった。もし日本人の方が多いクラスであったら、お互いのことをよく理

解しているため、この状況の逆であったと思う。英語で回答することに苦労していたのではない。お互いのことをよく知らない状態で、クラスメイトから立派な回答が飛び交う中、私は自ら自信のない回答を言うことをためらっていただけだ。

異文化理解も兼ね、授業ではそれぞれが母国人の良い点、悪い点を紹介した。中でも印象的だったのはブラジル人の子の発言だ。彼らの良い点はとてもフレンドリーで自分の意見をはっきりと言うことができる点。悪い点は横断歩道を無視して渡ったり、長時間並ぶことができず、すぐ横入りしてしまう点だ。そうだと日本人とは真逆な感じがした。私は今まで日本人の控え目な点がよいと思っていた。日本で暮らす分にはそれで丁度よいかもしれない。しかし、世界各国の学生と交流していると、その

人工光合成ジョイントセンターにて



ために嫌な顔をされてしまうことも学んだ。ブラジルの弱肉強食の社会が彼らを強くさせたのかもしれない。けれどもこれから、この世界で生きていくためには彼らと強い意志が必要だと思った。少なくとも私のクラスメイトからは将来成功しそうな「ニオイ」を感じた。この発見は気が弛んでいる私にとってよい刺激になったと思う。

圧倒されてばかりの旅で終わったわけではない。最終日のお別れ会の時、私はフラダンスを披露した。最初は踊るかどうか迷っていたが、今は決心してよかったと思っている。みんなに変な目で見られないだろうか、私は緊張と不安に襲われていた。しかし、心配はいらなかった。手拍子をし

て盛り上げてくれたので、とびきりの笑顔で踊ることができた。終わった後の歓声がとても嬉しかった。全然知らない子や現地の先生方に個別で褒めてもらったときの喜びは忘れない。「旅の恥は掻き捨て」という諺があるように、我を忘れるくらい思いっきり行動すればむしろ受け入れてもらいやすいことを最終日に気づいたことに後悔している。だが、「終わりよければ全てよし」といわれるように最高の終わり方ができたことにほっとしている。

この旅の経験がいつか役に立つ日が来ることを望むばかりである。

迷いや不安を乗り越えたフラダンス



JUTOKU



学校法人 明照学園
樹徳高等学校

🌱 平成29年度入試日程 🌱

1月 7日(土)…推薦・学業奨学生入学試験
1月28日(土)…一般・ステップアップ入学試験

挑戦 男女「別学」から「共学」へ

入学相談室長より各コースの紹介

■男女「共学」に

群馬県は、男子校と女子校が今も残る、全国でも数少ない県の一つです。その伝統を受け、本校も、昭和三十五年に男子部を設置してから現在まで、男女別学として、学校を運営して参りました。しかし、来年度募集生徒より、全てのコースにおいて、男女別学から男女共学へ移行します。

である理科部は、昨年、あのグーグル主催の「グーグルサイエンスジャム」に「色繭とこんにやくシルク」の研究という課題で挑戦、見事グランプリを獲得しました。

男女共学への移行は、このような「挑戦」する意気込みの一つと言えます。

男女別学と共学には、それぞれ長所・短所があり、単純な比較ができるものではありません。しかし、世界は、男女が等しく活躍できる社会になろうとしていることに異論はないはずで、この流れに遅れることにはあってはなりません。場面や状況に男女間の不要な遠慮や隔たりを作らず生活する習慣を身に付けさせる、という主旨が、共学化にはあります。

共学化に伴い、各コースの内容にも若干の変更があります。

まずは、総合コースJ組。これまで、二年次からの選択コースを、文理総合・情報商業・家庭（女子のみ）

に分けていたものを、文系と理系に絞り込みました。文系の履修科目は、古典B・日本史B・倫理・政経・探究理科。理系の履修科目は、地理A・数学A・数学B・化学・生物です。実は、ここにも本校の「挑戦」する意図があります。情報・家庭は授業内で賄い、主要科目を強化することで、基礎学力の更なる向上に繋がるだけでなく、進路実現への確かな力になります。ここ数年希望者が増加している医療系進路（看護師・理学療法士・作業療法士等）などには、理系科目は確実な競争力のアップにつながります。

次に、大学進学コースS組です。このコースは、受験者数の関係で、近年、女子クラスが編成できまわりました。しかし、男女共学となる来年度からは、このS組は、女子も活躍できる場となることが約束されているわけです。ぜひ、このコースへチャレンジし、目標とする大学への現役合格と部活動の両立を目指してください。

そして、特別大学進学コースK組。このコースは、難関国公立大学への現役合格を目指します。二年次より文系・理系に分かれ、科目によってはすでに男女合同授業を実施しており、むしろカリキュラムはスムーズになることが考えられます。実績のあるこのコースで、充実した高校生活の結果としての納得のいく進路実現を果たして欲しいと思います。

スーパースサイエンスコースSS組。このコースは少人数のクラス編成のもと、入学段階から理系に特化し、最難関国公立大学の理系学部への現役合格を目指します。また、海外科学研修がプログラムされていることも特徴の一つです。この海外科学研修は、単なる語学研修では終わらず、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）のキャンパスを利用して、アメリカの大学生活を模擬体験します。また、世界各国から集まる留学生たちと学生寮で交流し、グローバルな世界観を身につけることができるのです。

最後に本校が創立以来大事にしていることを紹介します。

樹徳高等学校は、仏様の教えを基に、若人の全人教育に努め、ありがとうと素直に言える心を育てます。「共生（ともいき）」の教えのとおり、生徒の夢を大切に、生徒と共に歩いていくことを約束します。そして、今、創立百年の伝統に誇りを持ちながら、二百年を見据えた挑戦を始めました。これからの樹徳高等学校の挑戦に、ぜひ芽を向けて欲しいと思います。

入学相談室長

佐伯雄二郎





平成29年度 樹徳高等学校生徒募集要項

募集定員と 募集コース	男女計 460名	総合コース 大学進学コース 特別大学進学コース スーパーサイエンスコース	J組 S組 K組 SS組	【出願資格】 ①平成29年3月 中学校卒業見込みの者 ②本校の教育方針に賛 同できる者
----------------	-------------	---	-----------------------	---

■入試日程

入学試験区分	推薦入学試験	学業奨学生 入学試験	一般入学試験	ステップアップ 入学試験
募集区分	J組推薦 S組推薦 K組推薦 SS組推薦 スポーツ推薦	併願	単願・併願	単願・併願
出願受付	平成28年 12月19日(月) 12月20日(火) 9:00~16:00	平成28年 12月19日(月) 12月20日(火) 9:00~16:00	平成29年 1月20日(金) 9:00~16:00	
試験日	平成29年 1月7日(土)	平成29年 1月7日(土)	平成29年 1月28日(土)	
合格発表日	1月17日(火)	1月17日(火)	2月6日(月)	
入学手続日	1月21日(土)	3月16日(木)	単願:2月18日(土) 併願:3月16日(木)	
単願切替手続日	—————	1月21日(土)	2月18日(土)	
出願書類	入学願書・調査書 中学校長の推薦書	入学願書・調査書	入学願書・調査書	1/7の受験票 再受験願
出願料	15,000円	15,000円	15,000円	無料
備考	本校の教育方針を理解し推薦 (単願)入学を希望する人の試験 です。	他校との併願ができる試験で す。	主に併願者のための 試験ですが、単願者も 受験できます。	学業奨学生入学試験 の受験者がさらに 上位の合格種別を目標 して再受験する試験 です。
※入学試験の結果、奨学生となった者には奨学金が給付されます。 (別記合格種別・奨学生種別参照) ※奨学生の更新審査は学期ごとに行われます。				

■試験方法・科目 (各入学試験・各教科とも、100点満点・50分間)

入学試験区分	推薦入学試験	学業奨学生 入学試験	一般入学試験	ステップアップ 入学試験
試験方式	マークシート方式	マークシート方式	記述方式	
試験科目	国・数・英	国・数・英・社・理	国・数・英・社・理	
面接試験	あり	なし	なし	

一貫校

中学校

だより

◆学習情報の整理

今回は、学習内容を理解するために誰でも出来る取組を紹介します。それは情報（知識）の整理と保存です。教科にもよりますが、授業では補助教材としてプリント資料が配付されます。数ヶ月もするとかなりの枚数になります。しかし、その扱い方となると十分とは言えません。①二つ折りにして教科書やノートに挟み込んで置く。②一応クリアノートに保管。③ファイルに綴じる。④ロッカーにしまい込む。⑤日付がないのでいつ配付されたものか、順番も判らなくなる等々。授業は既習事項の理解を前提として進められます。その際に、整理された情報が手元にあるかどうか大きな意味を持ちます。そこで、みなさんに次の取組を勧めます。ノート(A4版)を用意し、できたら教科別(最初は任意の1、2の教科でも可)に授業で配付された資料を缺で切り

取り(ノートに余白を残すため)、糊で貼付し、日々の学習の足跡を保存していく整理の事です。資料の整理ができたならマーカー等で重要な箇所に下線を引きながら再読します。また、付箋を付けておくことで復習にもなります。併せて小テストや中間・期末試験の問題用紙も整理・保存していきます。このような取組でもノートの数が増える到達感も得られ、次第に整理や活用の仕方が上手くなっていきます。情報を整理・保存する習慣が身に付くと、そこから新たな力が生まれます。情報を選択し、相互に関連づけ、情報を適切に活用できる力です。

情報化社会では、情報活用能力は重要な資質の一つとされています。日々生起する社会事象の把握や分析、そして諸課題を解決していく上で、この資質を身に付けていることは大きな武器となります。中学生の

時期、情報の扱い方に慣れる第一歩は、授業で配付された学習情報の整理にあります。中学そして高校へと継続していけば、独自の上手な情報の整理と活用の方法が身に付くのではないかと思います。

(顧問 斎藤哲也)

◆NHK全国学校音楽コンクール 群馬県大会

八月九日、前橋ベイシア文化ホールにてNHK全国音楽コンクール(Nコン)群馬県大会が行われました。今年課題曲「結」、自由曲「雪ひらひら」で臨みました。

「出場順は九校中四番目。ドキドキしながら、リハサルをし、舞台袖で順番を待ちました。一つ前の学校は大人数で臨んでいます。私たちは十二人という少人数。今日のためにみんなで頑張ってきたのだから、という気持ちを持って舞台上がりました。大切な人に、届くように一音一音心を込めて歌いました。結果は銀賞でした。惜しくも金賞に

◆夏季総合体育大会 結果報告

七月中旬から始まった各部の市総体で大いに活躍した選手たち。県大会へ十八名、そして関東大会へも赤坂君、川中子君の二名が出場しました。

◎陸上部

〈市大会〉：県大会出場
赤坂匠(男子三〇〇m)二位
赤坂匠(男子一五〇〇m)二位

◎卓球部

〈市大会〉
高橋一斗(三年男子個人)五位
山田翔貴(二年男子個人)三位
団体Aチーム三位
深澤宏輔(男子一五〇〇m)五位
友野公貴(男子八〇〇m)一位
阿部紘大(男子八〇〇m)三位
今泉雄太(二年男子一〇〇m)三位
浅沼雄登(男子走幅跳び)五位
関子田侑(一年男子一五〇〇m)二位
〈県大会〉
赤坂匠(男子三〇〇m)三位

◎水泳部

〈市大会〉
川中子琢巳(三〇〇mバタフライ)一位
川中子琢巳(一〇〇mバタフライ)二位
山崎真理(二〇〇m背泳ぎ)二位
山崎真理夏(二〇〇m背泳ぎ)二位
〈県大会〉
川中子琢巳(三〇〇mバタフライ)四位

樹徳中高一貫教育 第2回学校説明会 10/1(土) 9:00 ~ 12:00

- ・29年度入試概要
- ・学校生活
- ・カリキュラム 他

第2回樹徳中モギ試験 10/8(土)

受付 8:15 ~ 8:40
国語 9:00 ~ 9:45
算数 10:00 ~ 10:45

受験料 2000円

お問い合わせ TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

オリンピックの

感動を、二学期へ!

今年の夏休みは、四年に一度のオリンピックがブラジル・リオデジャネイロで開催され、日本選手団の活躍に一喜一憂しました。水泳・柔道・体操・レスリング・卓球・陸上はじめ、九十六年ぶりにメダルを獲得したテニスや、初めてメダルに輝いたカヌーやバドミントンなど、暑さを吹き飛ばすほどの、熱い熱い夏となりました。五輪の地からはほぼ連日、メダル獲得の報が届き、メダル総数は四十一個(金八個、銀十二個、銅二十一個)と史上最多となり、日本中が熱く燃え、感動や勇気をたくさんいただきました。



陸上女子五〇〇〇メートルのレース中、米国の選手は交錯して、一緒に転んだニュージールランドの選手を置き去りにしないで、「起きて!完走しなきゃ」と励まして走り出しましたが、足の激痛で倒れ込み、最下位。先にゴールしたニュージールランドの選手が、ゴールした米国の選手と抱き合うシーンには感激し、心を打たれるとともに、二人の選手には決勝進出の判定が下されました。また、難民

選手団は「自分たちを助けてくれた国への感謝と、祖国への強い思いを胸に」その代表として頑張り、大会の価値を大いに高めてくれたと思います。これら大会本部の計らいに「スポーツを通して、体と心を鍛える。世界の国々と交流し、平和の世界を築いていく」という五輪の精神を、目の当たりにした瞬間でもあり、多くの人々が感動したのだと思います。さらに、体操の個人総合で二位となったウクライナの選手は、記者会見で、優勝した内村選手に向けて「あなたを審判に好かれていたからこんな得点が」という記者の質問に対し、進んで「いったん得点が出ればそれは公平な結果。質問は無駄だと思う」と、勝者を称えたすがすがしい言葉が、今も強く心に残っています。転んだり、敗れたりした選手の姿や言葉(弁)には、メダリスト以上に人の心を打つ奥深さがあり、一層の感動がありました。

十七日間の熱戦が終わり、四年後は東京へとバトンタッチされます。感動や興奮を東京へと、期待の高まる真夏のオリンピック大会でした。



桐生祭り「子どもみこし」

感動を二学期へ!

忘れてならないことは、メダルを獲得した選手や入賞した選手は、この日のために四年間、多くの私生活や楽しみを犠牲にして、厳しい練習に耐えての栄冠であり、その地道な努力が見る人に感動や勇気を与えているのだらうと思います。

リオから届いた感動や勇氣、その素晴らしさを大切に、二学期に行われる「運動会」や「なかよし発表会」に向けて、努力して行きたいと思います。子どもたち

の成長を第一に、教育(保育)の充実に向け、職員一同、心を一つにして頑張つて参ります。
ご支援ご協力をよろしく
お願いいたします。
園長 瀬谷 茂
※桐生祭り(子ども御輿)への参加・ご協力、大変ありがとうございました。暑さの中で、素晴らしい思い出ができました。

『入園願書受付』

九月一日より入園願書の受付が始まりました。お早めの提出を!

◎募集人員

・満三才児一〇名

(二才から)

・年少 四〇名

・年中・年長 各一〇名

◎入園願書は直接ご来園くださるか、お電話にてお問い合わせください。

※土、日のご来園は事前にご連絡ください。

◎申し込み、問い合わせは
平日八時三〇分～
六時三〇分まで

桐生市広沢町3-4475
0277-531-5571

詳細はホームページで

<http://www.jufoku.ed.jp/kinder>

9月(正精進)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	木	始業式 大掃除 就職推薦開始 後期教育実習オリエンテーション	始業式 防災訓練 挨拶運動	新入園児願書受付開始 体育(全)文字・数(年中)
2	金	夏期課題確認試験(総合コース) 後期教育実習開始	市街地清掃 課題確認テスト	『避難訓練』(地震)
3	土			
4	日			
5	月	LHR 珠算練習開始 授業料納入日	お役に立とう週間③ 挨拶運動	保育料納入日 リズム(全)線(年少) 群私幼東部地区研究委員会
6	火	生徒募集要項説明会(中学校教員対象)		
7	水	マイトリー基金拠金日 生徒募集要項説明会(学習塾対象) ITS研修		英語(全)文字・数(年長)
8	木	県高P連本部役員会		体育(全)文字・数(年中)
9	金			プール納め 8・9月生まれ「お誕生会」
10	土		入試パワーアップ授業	
11	日			
12	月	校内基礎学力テスト②(総合コース) 普通授業(進学コース)		リズム(全)線(年少)
13	火			
14	水			職場体験(桜木中)～15日 英語(全)文字・数(年長)
15	木	交通安全マナーアップ運動②		体育(全)文字・数(年中)
16	金	就職選考(入社試験)開始	授業参観日	公開保育(相幼・5歳)
17	土	中学生1日体験入学② ハネッセ・駿台マーク模試(～18日)		
18	日		茂木健一郎×塩谷賢公開対談	
19	月	敬老の日		
20	火			
21	水			お茶のお稽古③ 公開保育(桜幼・3歳) 英語(全)文字・数(年長)
22	木	秋分の日		
23	金			
24	土			
25	日	第33回吹奏楽部定期コンサート 全商情報処理検定①		
26	月	男女合同朝礼 珠算競技(～28日)	早朝自主学習(～10月4日)	リズム(全)線(年少)
27	火			園外保育
28	水			英語(全)文字・数(年長)
29	木	漢字練習開始		体育(全)文字・数(年中)
30	金	出欠統計 女子制服アフターサービス		

※ 1日は高等学校・一貴校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく